

公募型見積合わせ公告

国立大学法人大阪大学において、次のとおり公募型見積合わせ方式に付します。

1. 調達内容

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| (1) 調達番号     | 情報003                     |
| (2) 調達件名及び数量 | 情報科学研究科電子計算機システム運用管理業務 一式 |
| (3) 請負期間     | 令和2年4月1日から令和3年3月31日までとする。 |
| (4) 請負場所     | 国立大学法人大阪大学大学院情報科学研究科      |

2. 見積参加資格

- (1) 国立大学法人大阪大学契約規則第7条及び第8条の規定に該当しない者であること。
- (2) 本学と取引実績のある者であること。

3. 見積書の提出場所等

- (1) 見積書の提出場所、契約条項を示す場所、仕様書及び国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得の交付場所及び問合せ先  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-5  
国立大学法人大阪大学 大学院情報科学研究科 会計係  
電話 06-6879-4506
- (2) 国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得の入手方法  
本公告の日から上記3(1)の交付場所にて交付します。また、インターネットにより本学ホームページにアクセスし、参加者心得を出力することもできます。
- (3) 見積書提出期限  
令和2年 2月28日 17時15分

4. その他

- (1) 契約保証金 免除
- (2) 契約書作成の要否 要
- (3) その他詳細は、国立大学法人大阪大学が定めた「国立大学法人大阪大学公募型見積合わせ方式参加者心得」に定めています。

第2号様式

## 見 積 書

調達番号： 情報003

調達件名： 情報科学研究科電子計算機システム運用管理業務 一式

見 積 金 額                      金                                      円也

国立大学法人大阪大学が定めた製造請負契約基準を熟知し、仕様書及び公募型見積合わせ方式参加者心得を承諾の上、上記の金額によって見積します。

令和    年    月    日

国立大学法人大阪大学    殿

住    所  
会 社 名  
氏    名  
電 話 番 号

[印]

- 1 見積金額は、消費税額及び地方消費税額を除いた金額を記載してください。
- 2 見積書の日付は、提出日を記載してください。
- 3 本学が見積公告【2. 見積参加資格（1）（2）】以外に見積参加資格を示した場合、それを有しているかどうか証明するための書類を見積書に添付してください。

# 請負契約書(案)

請負の表示 情報科学研究科電子計算機システム運用管理業務 一式

請負代金額 金 円也(うち消費税額及び地方消費税額 円)

上記の消費税額は、消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき、請負代金額に110分の10を乗じて得た額である。

発注者 国立大学法人大阪大学大学院情報科学研究科長 村田 正幸 と受注者 との間において、上記の請負業務(以下「業務」という。)について、上記の請負代金額で次の条項によって請負契約を結ぶものとする。

- 第1条 受注者は、別紙の仕様書に基づいて、業務を実施するものとする。
- 第2条 業務は国立大学法人大阪大学大学院情報科学研究科で行うものとする。
- 第3条 受注者は、業務を行う上で知り得た発注者に関する事項を他に漏らし、又は他の目的に使用してはならない。
- 第4条 受注者は、業務を行う上で知り得た個人情報については、別紙「個人情報取扱の特記事項」を遵守して取扱うものとする。
- 第5条 契約期間は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までとする。
- 第6条 受注者は、業務完了後、完了通知書を国立大学法人大阪大学情報科学研究科会計係に送付するものとする。
- 第7条 請負代金は、毎月金 円を支払うものとし、毎月の業務完了確認後、当該月の翌々月末までに支払うものとする。
- 第8条 発注者は、天変地変その他のやむを得ない事由により業務が実施できない場合は直ちに、受注者に通知するものとし、業務が行われなかった期間の請負代金は、次に掲げる計算式により、減額して支払うものとする。  
当該月の請負代金額=第7条の毎月の請負代金額×当該月の実業務日数/当該月の要業務日
- 第9条 契約保証金は免除する。
- 第10条 受注者は、業務を実施するにあたって、発注者の建物、設備等を損傷しないよう善良な管理者の注意義務を怠ってはならない。
- 第11条 受注者は、前条に違反し建物、設備等を損傷した場合は、賠償の責を負うものとする。
- 第12条 この契約についての必要な細目は、別冊の国立大学法人大阪大学が定めた製造請負契約基準によるものとする。
- 第13条 この契約について、発注者と受注者との間に紛争を生じたときは、発注者所在地の所轄裁判所の裁決により、これを解決するものとする。
- 第14条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため発注者及び受注者は、次に記名し、印を押すものとする。  
この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

令和 年 月 日

発注者

吹田市山田丘1番5号

国立大学法人大阪大学

大学院情報科学研究科長 村田 正幸

受注者

個人情報取扱の特記事項

(基本的事項)

第1 この契約により、発注者から業務を請け負った者(以下「受注者」という。)は、この契約による業務を行う上で、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

(秘密保持)

第2 受注者は、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は本契約を履行する以外の目的に使用してはならない。

2 受注者は、この契約による業務に従事する者に対し、在職中及び退職後においても、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他人に知らせ、又は本契約を履行する以外の目的に使用してはならないこと、その他個人情報の保護に関して必要な事項を周知させなければならない。

3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(保管及び搬送)

第3 受注者は、この契約による業務に係る個人情報の漏えい、改ざん、滅失、毀損その他の事故を防止するため、個人情報の厳重な保管及び搬送に努めなければならない。

(再委託の禁止)

第4 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託してはならない。

(契約目的以外の利用等の禁止)

第5 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報を当該業務の処理以外の目的に使用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写及び複製の禁止)

第6 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務に係る個人情報を複写若しくは複製してはならない。

(事故発生時の報告義務)

第7 受注者は、この特記事項に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、その指示に従わねばならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(個人情報の返還等)

第8 受注者は、この契約が終了し、又は解除されたときは、この契約による業務に係る個人情報を速やかに発注者に返還し、又は漏えいを来さない方法で確実に処分しなければならない。

(適正な管理)

第9 受注者は、この契約による業務を学外で実施する場合には、個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。この場合において、発注者の求めに応じ、責任者等の管理体制及び個人情報の管理状況に係る検査に関する事項等についての書面を提出しなければならない。

(違反した場合の措置等)

第10 発注者は、受注者がこの特記事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができるものとする。

情報科学研究科電子計算機システム運用管理業務 一式

## 仕様書

大阪大学大学院情報科学研究科

令和2年2月

## 1. 調達の目的

本件は、次の事項について、受注者の指示系統のもとに技術者を大阪大学大学院情報科学研究科（以下「本研究科」という）内に常駐させることにより行う、以下に示す電子計算機システムの運用管理業務（以下「業務」という）の請負契約に関する調達である。

- (1) 本研究科に設置された電子計算機システム（別紙2参照）の運用管理
- (2) 大阪大学（以下「本学」という）が提供するメールサービス（以下「電子メールシステム」という）および仮想計算機の提供サービスを利用した電子計算機システムの運用管理

## 2. 業務請負名

情報科学研究科電子計算機システム運用管理業務 一式

## 3. 一般事項

### (1) 連絡体制

受注者は従業者の常駐場所（別紙1 常駐場所の通り）に電話および電子メールによる窓口を設置し、本学担当者等からの連絡に対処できるようにしておくこと。なお、従業者の内線電話は本研究科が用意する。

### (2) 教育研究用電子計算機システム賃貸契約業者との連携

本研究科の教育研究用電子計算機システムの賃貸契約を締結している業者との迅速な連携を行える体制を有すること。見積書提出時に、連携体制を提案書として提出すること。

### (3) マニュアル作成等

業務を遂行するうえで知り得た情報、気づいたことについて次のような資料を作成し、整理しておくこと。資料は電子的に作成すること。また、本学担当者から要求があった場合には、これを提出すること。

- ① 業務遂行のうえで新たに導入したハードウェアやソフトウェアのマニュアル
- ② 運用管理に関するマニュアルやガイドライン等への補足情報
- ③ 問い合わせ等への対応に係る Q&A 情報
- ④ トラブル・障害の発生内容とその対応策
- ⑤ 業務を行う上で発生した課題とその対処方法および進捗状況を一覧にしたリスト
- ⑥ システム利用者や本学職員との会議録
- ⑦ 別途協議により定めるもの

(4) システム情報のバックアップ

ソフトウェアの変更、システムの設定変更等があった場合には、その都度変更前のシステム設定情報のバックアップをとっておき、いつでも変更前の状態に戻せるようにしておくこと。

(5) 業務の引き継ぎ

従業者を変更する場合は、引き継ぎ文書を作成するなどして、従業者変更による業務の質の低下防止のために誠意をもって対応すること。

(6) 従業者の業務能力

従業者は、電子計算機システム及びそれに導入されたソフトウェア（別紙2 電子計算機システム一覧）について熟知し、業務を遂行できるだけの十分な知識と実務経験を有する者とし、本書「4.業務内容」における運用・管理業務すべてについて同様・同規模のシステムに1年以上従事した経験を有すること。見積書提出時に従業者の実績表を併せて提出すること。

(7) 他の保守業務従事者との協力

保守対象機器に対する別契約の保守業務がある場合には、その受注者と協力し、業務を円滑に進めること。

(8) 作業実施報告書の提出

受注者は、作業実施報告書（業務内容、作業時間、その他必要な事項を記録したもので、従事者が押印したもの）を毎月の業務終了後、本研究科会計係に提出するものとする。

(9) 後片付け

業務の終了に当たっては、使用した工具、測定器、資料等の後片付け及び業務場所の清掃を行うこと。

(10) 電力・用水費等業務に使用する電力及び用水費等は、本研究科の負担とする。

## 4.業務内容

情報科学研究科に設置された電子計算機システムの管理

基盤ネットワークサーバ群（別紙2 1.基盤ネットワークサーバ群）、高性能ネットワークシステム（別紙2 2.高性能ネットワークシステム）、仮想計算機サーバ群（別紙2 3.仮想計算機サーバ群）、電子メールシステム、および、無線 LAN アクセスポイント（別紙2 4.無線 LAN アクセスポイント）に対して次の管理業務を行うこと。手順書が必要な場合は本学から提示することとする。

### (1) 電子計算機システムに関する窓口業務

- ① 電子計算機システムに関する本学構成員からの利用申請、設定変更、各種問い合わせ、障害報告などの連絡に対して、一次窓口として対応すること。対応においては、必要に応じて、本学担当者などと連携すること。

### (2) 基盤ネットワークサーバ群、高性能ネットワークシステム、仮想計算機サーバ群共通の管理業務

- ① 各種サーバ、ネットワーク機器、無停電電源装置の障害の発生を未然に防ぐために定常的なシステム監視を行い、対処・助言を行うこと。また、大判プリンタ等の消耗品を使用する機器に対しては、本学担当者と連携して問い合わせに対応し、消耗品の交換など必要な作業を行うこと。
- ② 各種サーバ・ネットワーク機器に導入された OS およびソフトウェアのセキュリティ情報を適宜収集し、セキュリティホールが発見された場合は、本学担当者等に連絡をとると共に、システムの安全を確保すること。また、システム設定変更および導入した OS およびソフトウェアのバージョンアップまたはセキュリティパッチ適用、各種サーバ、ネットワーク機器、無停電電源装置等のファームウェアアップデートの必要がある場合は、作業すること。なお、これらの作業を実施するために必要となる諸経費の支払いについては、本研究科と受注者で協議のうえ、決定するものとする。
- ③ 設備のメンテナンスや大学の都合により、サーバを停止する必要があるときは、関連するサーバへの影響を考慮のうえ、サーバの停止・起動を行うこと。
- ④ 情報インフラ利用にあたっての研究室からの設定に関する相談や、発生した問題に対して、対応すること。
- ⑤ 各種サーバ、ネットワーク機器、無停電電源装置の配置や設定変更を行った際には、該当する管理簿を更新すること。

### (3) 基盤ネットワークサーバ群の管理業務

- ① 基盤ネットワークサーバ共通の管理業務
  - a. サーバの温度監視、障害監視システムからの警告に対し、対応のための技術的支援・助言を行うこと。必要に応じて機器の保守業者とも連携すること。
- ② DNS/LDAP/利用者管理システムサーバ
  - a. 利用者管理システムの利用手順書に従い、本サーバの管理業務を行うこと。利用手順書は本研究科から提供する。
  - b. 電子計算機システム利用者等の依頼にもとづいて、DNS の設定変更を行うこと。

- c. 電子計算機システム利用者等の依頼にもとづいて、利用者の登録/変更/削除および有効/無効の設定を行うこと。
- d. 必要がある場合は、利用者の登録/変更/削除および有効/無効の設定権限を各研究室に委譲する。

③ Remote Desktop/Active Directory サーバ

- a. ポリシー設定に関する技術的支援を行うこと。
- b. 必要に応じてドメインツリーやフォレスト作成の技術的支援を行うこと。
- c. 必要に応じてユーザ及びグループの管理業務を行うこと。

(4) 高性能ネットワークシステムの管理業務

① 高性能ネットワークシステム共通の管理業務

- a. 基盤ネットワークサーバ群、仮想計算機サーバ群、電子メールシステムの運用に支障が無いように、ネットワークシステムの連携運用の設定を行うこと。また、情報科学研究科の各研究室に設置された機器等が、これらのサーバ群および電子メールシステムを利用できるよう連携運用の設定を行うこと。
- b. 電子計算機システム利用者もしくは本学担当者等からの、スイッチのコンフィグおよび VLAN に関する設定変更等の要望をヒアリングし、設定変更後に予見される影響や不具合について助言を行うこと。また、対処策を提示すること。
- c. 電子計算機システム利用者等の依頼に基づき、スイッチのコンフィグ設定、VLAN 設定、ポート有効化/無効化を行うこと。

② 高性能コアスイッチの管理業務

- a. 大阪大学総合情報通信システム (ODINS) と接続する回線の死活監視を行い、障害や不具合が生じた時には原因の切り分けを行ったうえで、必要に応じて ODINS 運用管理部門へ問い合わせを行い、対応すること。
- b. スイッチや回線の死活監視を行い、障害や不具合が生じた時には原因を解明し復旧にあたること。
- c. ファイアウォールのルール作成、ポリシー作成について技術的支援を行うこと。
- d. VPN 機能 (認証、VLAN 設定) について技術的支援を行うこと。

③ 高性能ワークグループスイッチ A、B、C、サーバスイッチ、および高性能エッジスイッチ A、B1、B2、C、X の管理業務

- a. スイッチや回線の死活監視を行い、障害や不具合が生じた時には原因を解明

し復旧にあたること。

(5) 仮想計算機サーバ群の管理業務

Linux 系 OS がインストールされた仮想計算機サーバにおいて、Apache2 を用いたウェブサービスを提供する管理業務である。

- ① 研究科ウェブサーバ1台の管理業務
  - a. 管理者用アカウントの作成・削除を行うこと。
  - b. 管理者からのウェブサーバ動作に関する要望をヒアリングし、「httpd.conf」等の設定変更を行うこと。
  - c. ウェブサーバ運用に支障が無いように、ウェブサーバ間のファイル同期等の連携運用の設定を行うこと。
- ② 研究室ウェブサーバの管理業務
  - a. 各研究室の管理者用アカウントの作成・削除を行うこと。
  - b. 各研究室の管理者からのウェブサーバ動作に関する要望をヒアリングし、「.htaccess」等のユーザ設定に関する助言もしくは技術的支援を行うこと。
  - c. 各研究室の管理者からのウェブサーバ動作に関する要望をヒアリングし、「httpd.conf」等の設定変更やPHPの設定ファイル「php.ini」の設定変更を行うこと。
  - d. 各研究室の管理者から利用要望のあったソフトウェア、ライブラリ、Apacheモジュールについて、本学担当者等と導入に関する協議を行うこと。導入することを決定した場合は、導入支援を行うこと。
  - e. MySQL、PostgreSQLのデータベース管理(DB作成、DBユーザ管理)を行うこと。
- ③ 研究科ウェブサーバ、研究室ウェブサーバの共通の管理業務
  - a. バックアップ作業を定期的に行うこと。なお、バックアップ作業を行う間隔については、本研究科と受注者が協議のうえ、これを決定するものとする。また、必要がある場合は、リストア作業を行うこと。その他、サーバ等のディスクのバックアップが新たに必要となった場合は、本研究科と受注者が協議のうえ対応を決定するものとする。
- ④ 文書共有サーバの管理業務
  - a. 管理者用アカウントの作成・削除を行うこと。
  - b. Xerox社製文書管理サーバ(DocuShare)のユーザアカウントの作成・削除、および、ユーザグループの作成・削除を行うこと。作成・削除に関する手順書は

本研究科から提供する。

- c. 利用者から質問や不具合報告の連絡を受けた場合、技術的支援を行うこと。  
また、必要に応じて研究科内のパソコン等利用者への直接対応（電話、遠隔操作等）を行うこと。

⑤ Sharepoint サーバの管理業務

- a. Sharepoint ユーザの作成および削除を行うこと。設定手順書は本研究科から提供する。
- b. 共有ファイルフォルダーの設定管理を行うこと。設定手順書は本研究科から提供する。
- c. 本研究科作成の管理マニュアルにもとづいて、登録ファイルの削除を行うこと。
- d. ユーザからの依頼にもとづいて、ユーザパスワードの再設定を行うこと。

⑥ 研究科 DNS/SSH サーバ 1 台の管理業務

- a. 管理者用アカウントの作成・削除を行うこと。
- b. 必要に応じて、DNS の技術的支援を行うこと。

⑦ 会議室等予約システム

- a. 本システム（Apache2、Perl 等のソフトウェアにより構成される Web サーバであり、本研究科教員が作成した Perl スクリプトを含む）について、以下に示す運用管理を行うこと。
  - (1) 本システムで管理対象とする会議室情報の追加、修正、削除。
  - (2) データベース（ローカルファイル）管理。
  - (3) Perl スクリプト修正の技術的支援を行うこと。
  - (4) ユーザからの質問、不具合報告等に対応すること。
- b. 管理手順については、本システムを構築した本研究科教員と協議のうえ、決定し、管理マニュアルを作成すること。

⑧ 電子計算機システム情報ウェブサイト管理業務

- a. 電子計算機システムの各種情報をまとめたウェブサイトであり、以下の管理業務を行うこと。
  - (1) 電子計算機システムの構成や運用方法の変更に応じて適宜、本学担当者と相談の上、内容を修正すること。

(6) 電子メールシステムの管理業務

電子メールシステムは、本学が提供する SaaS サービスである。本学が提供する利用

手順書にもとづいて以下の管理業務を行うこと。

- ① メールアカウントの登録、削除、有効化／無効化を行うこと。
- ② メールアカウントの転送設定を行うこと。
- ③ メールリングリストの登録、削除を行うこと。
- ④ 必要がある場合は、メールアカウントおよびメールリングリストの操作権限を各研究室代表者に委譲すること。
- ⑤ 令和2年4月10日までに、キャンパスメールシステムへのアカウント追加、ML整備を円滑に終了すること。(キャンパスメールシステムの管理者マニュアルは必要に応じて提供する)

#### (7) 無線 LAN アクセスポイント管理業務

- ① 本研究科が設置する無線 LAN アクセスポイントについて、不具合が生じたときには、対応のための技術的支援・助言を行うこと。必要に応じて機器の保守業者とも連携すること。
- ② 定期的に無線 LAN アクセスポイントのパスワードを変更し、そのパスワードを本研究科構成員に適切な方法で案内すること。なお、パスワード変更を行う間隔と案内の方法については、本研究科と受注者が協議のうえ、これを決定するものとする。

#### (8) 情報科学C棟サーバ室における入退出管理業務

- ① 入退出者アカウントの登録、削除、有効化／無効化を行うカードの設定を行うこと。
- ② 入退出のログを取り、指示があった場合に提示すること。

#### (9) キャンパスクラウド利用管理業務

- ① キャンパスクラウドのディスク容量使用状況について、定期的に調査を行い、利用状況の一覧表を本学担当者等へ提出すること。なお、状況調査を行う間隔については、本研究科と受注者が協議のうえ、これを決定するものとする。
- ② キャンパスクラウド利用にかかる質問や不具合報告の連絡を受けた場合、技術的支援を行うこと。

#### (10) 報告会における報告業務

- ① 定例報告会を1ヶ月に一度開催すること。
- ② 定例報告会では、実施した、もしくは、継続中、もしくは、実施予定の業務内容を報告し、各事案における対応を本学担当者等と相談すること。なお、定例報告会の開催日時については、本研究科と受注者が協議のうえ、これを決定するものとする。

- ③ 定例報告会のほかに、緊急の事案がある場合には臨時報告会を開催し、本研究科が要請する内容について報告し、対応を相談すること。

## 5. 契約期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 6. 契約の形態

本業務の契約形態は、請負契約とする。

## 7. 契約解除

本学は研究科内に設置されている当該委員会からの申し出により以下の項目に該当すると判断できる場合は、口頭もしくは書面にて業務改善要求を行うこととし、その要求に対し、改善がなされていないと判断できる場合は、契約を解除するものとする。

- (1) 本学が指定した期日までに業務を履行しないとき。または、履行する見込みがないと本学が認めるとき。
- (2) 業務の実施にあたり、正当な理由なく、本学担当者による指示に従わないとき。またはその職務の執行を妨害したとき。

## 8. 業務実施時間等

- (1) 平日 8:30～17:15(12:00～13:00 は除く)に業務を行うこと。なお、大学の休日（土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日、夏季一斉休業期間）は業務の対象外とする。
- (2) また、上記の業務実施時間等の変更が必要な場合には、本研究科と受注者で合意のうえ、これを決定するものとする。ただし、緊急・異常事態時の対応など本研究科からの要請があった場合は対応すること。
- (3) 従事者の変更を行う場合は、事前に書面(様式任意)により通知すること。ただし、緊急に止むを得ない場合には、口頭によることができるものとするが、その場合は後日、必ず書面による提出を行うこと。

## 9. 業務場所

大阪大学 大学院情報科学研究科

- (1) 本請負業務の業務実施場所は本学情報科学研究科内とする。

## 10. 個人情報保護

- (1) 受注者は、本業務の遂行上知り得た個人情報について機密保持等の義務を負うこと。
- (2) 受注者は、業務遂行上、個人情報の複製の必要性がある場合は本学の許可を得ること。
- (3) 受注者は、個人情報の漏洩等の事案が発生したときは、何時でも本学の事情聴取に応じること。
- (4) 受注者は、ID 及びパスワード等の情報を取り扱う場合の作業は本学内で行い、データの学外持ち出しは作業を委託する者を含め、一切行わないこと。
- (5) 受注者は、請負終了時には媒体に複製した個人情報を消去し、返却すること。
- (6) 受注者が(1)～(5)に違反した場合、本学は契約解除等の措置をとることができるものとする。

## 11. 計画停電および省電力のための運用

- (1) 計画停電および省電力のために電子計算機システムを停止・縮退させる必要があるときは、設定変更、機器停止および立ち上げのスケジュールを作成し提出すること。スケジュール作成にあたっては、事前に本学担当者に相談すること。
- (2) 設定変更前の評価及び設定変更後の動作確認を行うこと。不具合発生時には原因の切り分けを行ったうえで、必要に応じて電子計算機システム賃貸契約業者及び保守対象機器に対する別契約の関連保守業務の受注者への問い合わせを行い、解決に努めること。
- (3) 停電による電子計算機システムの大規模停止を避けるために、サーバ類に対して発電機等による運用を行う必要がある場合は、そのための計画を立て、本学担当者に報告すること。
- (4) 停電終了後には、電子計算機システムが正常動作することを確認すること。正常動作しない場合は、原因を解明し復旧にあたること。
- (5) 障害からの復旧後には、障害の内容、障害の原因、復旧作業の手順、復旧後の状態等を記した報告書を作成し、本学担当者に提出すること。

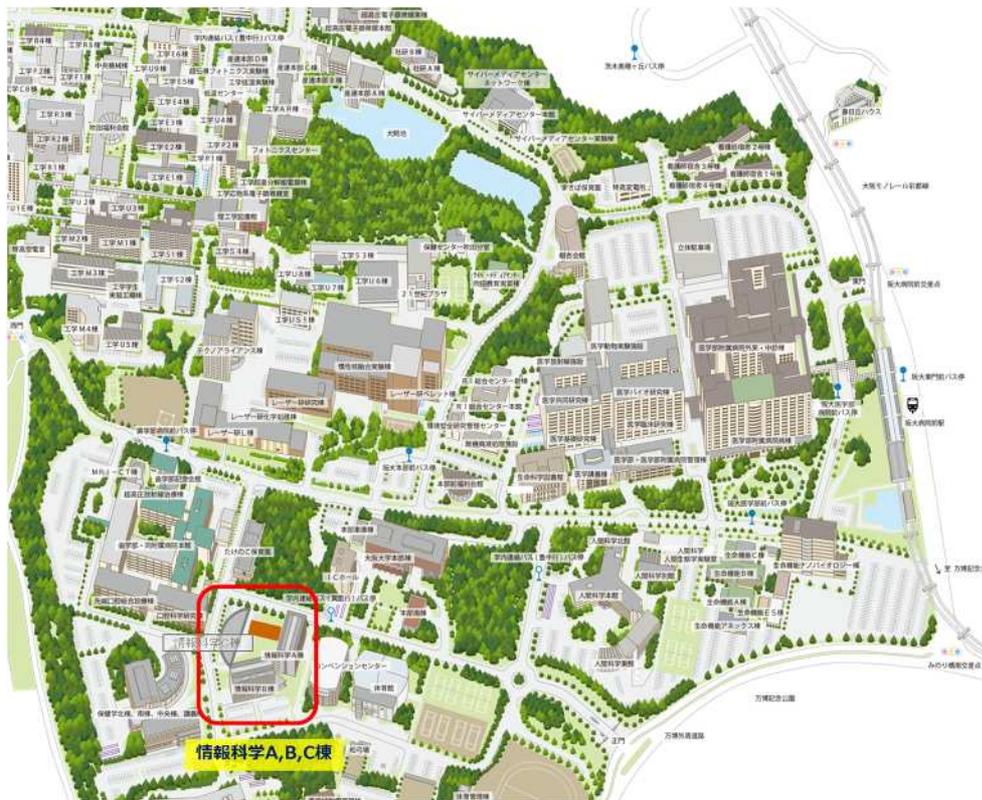
## 12. その他

- (1) 本仕様書に定めるもののほか、必要な細目は、国立大学法人大阪大学が定めた製造請負契約基準によるものとする。
- (2) 受注者は、本業務の遂行により知り得た情報を他に漏洩してはならない。これに反した場合、本学は契約の解除等の措置をとることができるものとする。

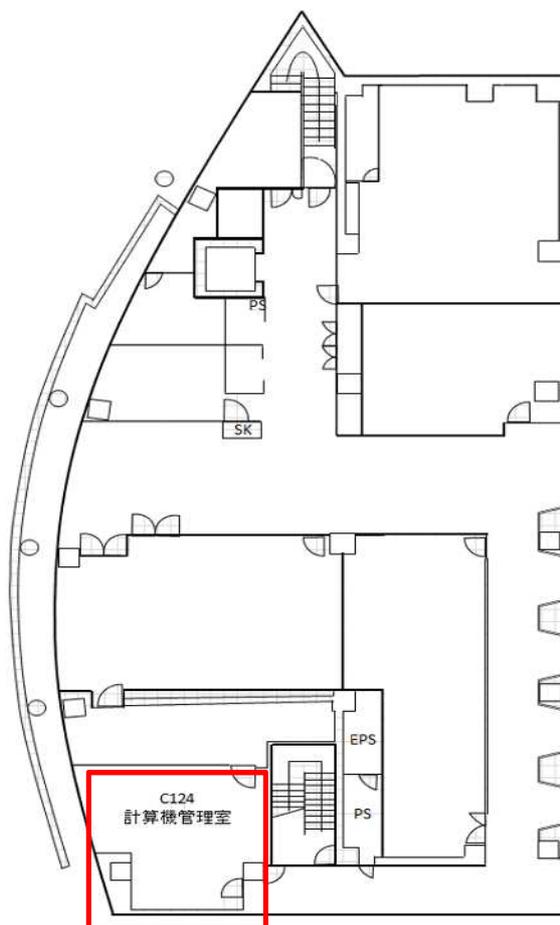
- (3) 本学は、受注者に対して本業務を行うために指定した業務執行場所への出入りを許可するものとし、必要に応じてインターネットを介してのネットワークシステムへのアクセスを許可するものとする。
- (4) 本仕様書に記載のない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、本学と受注者が協議のうえ、これを決定するものとする。

# 別紙 1 常駐場所

常駐場所は、情報科学 C 棟 1F 計算機管理室内の区切られたスペースとする。



## 情報科学 C 棟



別紙 2 電子計算機システム一覧 ( ) 内は主要機器およびソフトウェア

1. 基盤ネットワークサーバ群

- 1.1 DNS/LDAP/利用者管理システムサーバ 2 式  
(富士通 PRIMERGY RX2530 M2、HDE HDE Controller 11、富士通 統合 ID 管理 UnifIDone)
- 1.2 Remote Desktop/Active Directory サーバ 2 式  
(富士通 PRIMERGY RX2530 M2)
- 1.3 大判プリンタ 1 式  
(キヤノン imagePROGRAF PRO-4000S)

2. 高性能ネットワークシステム

- 2.1 コアスイッチ 2 式  
(アライドテレシス AT-DC2552XS)
- 2.2 ワークグループスイッチ A 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.3 ワークグループスイッチ B 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.4 ワークグループスイッチ C 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.5 サーバスイッチ 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-52GTX)
- 2.6 エッジスイッチ A 12 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.7 エッジスイッチ B1 11 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.8 エッジスイッチ B2 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-52GTX)
- 2.9 エッジスイッチ C 14 式  
(アライドテレシス AT-SH510-28GTX)
- 2.10 エッジスイッチ X 2 式  
(アライドテレシス AT-SH510-52GTX)
- 2.11 統合脅威管理(UTM)セキュリティプラットフォーム 2 式  
(フォーティネットジャパン FortiGate-600D)

2.12	無停電電源装置	2 式
	(富士通 Smart-UPS SMT 1500RMJ)	
3.	仮想計算機サーバ群	
3.1	DNS/SSH サーバ	1 式
	(VMWare vsphere4.0)	
3.2	研究科ウェブサーバ	1 式
	(VMWare vsphere4.0)	
3.3	研究室ウェブサーバ	1 式
	(VMWare vsphere4.0)	
3.4	文書共有サーバ	1 式
	(VMWare vSphere ESXi6.0 update 1)	
3.5	Sharepoint サーバ	1 式
	(VMWare vSphere ESXi6.0 update 1)	
4.	無線 LAN アクセスポイント	
4.1	無線 LAN アクセスポイント A	3 式
	(Buffalo WAPM-1750D)	
4.2	無線 LAN アクセスポイント B	2 式
	(Buffalo WAPM-1166D)	
4.3	無線 LAN アクセスポイント R1	1 式
	(Buffalo WAPM-1166D)	
4.4	無線 LAN アクセスポイント R2	1 式
	(Buffalo WAPM-1750D)	